

消費期限偽装事件に対して申し入れ！

弁当を製造している「ジェイアール東海パッセンジャーズ」（東京都中央区）の工場長が、1年以上前から、消費期限を延ばしたラベルを弁当などに張らせていた事件が22日に発覚した。

建守猛社長は「ご迷惑をかけ、申し訳ありません」と陳謝する一方で、「法的には問題はないのではないか。健康上の実害もないと思う」などと、開き直りとも取れる会見を行った。

車内などの**対応マニュアルでは、「私も驚いています」と対応するように指示**され、まさに「驚き」のマニュアルまで発覚した。以下、会社に対して申し入れを行った。

1. 消費期限を偽装した商品が製造された工場、販売ヶ所、個数を明らかにすること。
2. なぜ消費期限を偽装する必要があったのか、明らかにすること。
3. 報道によれば「偽装は1年以上前から恒常的に行われていた」というが、これが事実なのか、またいつから偽装が始まったのか、明らかにすること。
4. JR東海パッセンジャーズの4工場の工場長は、全員不正を認識していたと報道されている。食の偽装の発表が続いていたのであるから、もっと早い段階で不正行為にけじめをつけることができたと考える。なぜ早期に不正を止めることができなかったのか、明らかにすること。
5. 2月21日偽装が判明したのだから、21日製造分で消費期限を偽装した商品は回収するべきだったと考える。なぜ回収しなかったのか、明らかにすること。
6. 消費期限偽装の再発防止策を明らかにすること。
7. この偽装問題に関するJR東海の見解、JR東海パッセンジャーズに対してどのような措置をとるのか、あるいはとったのか、明らかにすること。

私も驚いています！？